

科目名	保育心理技法					単位	2.0
担当教員	石牧 良浩						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4504

●授業のテーマ

乳幼児に対する心理的援助の方法について理解する。

●到達目標

子どもの特性を理解するためのさまざまな方法論（面接、観察、箱庭、描画など）、および子どもとのかわりについての方法論（プレイセラピーなど）についての基本事項を理解する。

●学習内容(授業概要)

子どもをよりよく理解し、かかわっていくための方法について説明する。具体的には、描画や箱庭など、子どもの内面を理解する技法、遊びを通して子どもの内面と関わる技法（プレイセラピー）などについて説明していく。最近の資料、公開されている事例・映像なども用い、できるだけ興味深くわかりやすい内容の講義にしていきたいと考える。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション・(授業の進め方・評価について)
2. 心の健康とは(保育場面における適応・不適応について)
3. 子どもの理解①(かかわりと行動観察)
4. 子どもの理解②(知的側面の理解)
5. 子どもの理解③(箱庭)
6. 子どもの理解④(描画法)
7. 子どもの理解⑤(投映法)
8. 子どもの心理臨床①(カウンセリングの方法論・心構えについて)
9. 子どもの心理臨床②(プレイセラピー・「遊び」における制限)
10. 子どもの心理臨床④(子どもの制限やぶりの意味とその対応)
11. 子どもの心理臨床⑤(プレイセラピー・導入)
12. 子どもの心理臨床⑥(プレイセラピー・展開)
13. 子どもの心理臨床⑦(プレイセラピー・洞察)
14. 子どもの心理臨床⑧(プレイセラピー・終結)
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前学習：毎回の授業のテーマごとに、あらかじめその周辺について下調べをする。

事後学習：毎回の授業で習った大切なキーワードを3つ以上書きだしておく。

●成績評価方法・基準

平常点 40%・学期末試験 60%

●テキスト(必携)

●参考文献／その他
授業中に指示する。

●履修上の注意

- ・プリントを綴じるファイルを各自用意すること。
- ・授業計画は変更が生じる場合があるので了承されたい。